

再生可能エネルギー導入推進等の取組状況について

1. 重点対策加速化事業（地域脱炭素移行・再エネ推進交付金）

地域の脱炭素化を意欲的に行う自治体を複数年度にわたり支援する環境省交付金「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」の採択を受け、令和5～10年度を事業期間として、交付金を活用し、住宅や事業所の太陽光発電設備や省エネルギー設備などの助成事業の実施や、公共施設の脱炭素化等を推進する。令和6年度は、国要件である非FIT太陽光発電設備の導入促進のため、蓄電池設備とのセット導入助成を実施し、市域における再エネ導入を推進した。

令和6年度の実施状況は次のとおり。

(1) 市民・事業者向け助成金（地域脱炭素移行・再エネ推進助成金）

（対象設備）

- ①個人 太陽光発電、蓄電池及びZEHの導入、
高効率給湯器、コージェネレーションシステムの更新
②事業者 太陽光発電、ZEH及び空調・LEDの更新

（申請期間）令和6年6月28日（金）～令和7年1月31日（金）

※詳細は別添「地域脱炭素移行・再エネ推進助成金」チラシを参照。

（交付決定件数）100件、44,050千円

設備	対象者	交付決定件数		交付決定金額（千円）		再生可能エネルギーの出力（kW）	
		R5	R6	R5	R6	R5	R6
実施年度	—	R5	R6	R5	R6	R5	R6
太陽光発電設備 （自家消費型）	個人	7	18	1,575	5,876	25.4	86.0
	事業者	1	1	750	400	148.5	8.0
蓄電池設備※	個人	—	17	—	7,627	—	—
	事業者	—	1	—	633	—	—
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）	個人	12	7	6,600	3,850	48.8	31.2
	事業者	0	0	0	0	—	—
高効率照明機器（LED）	事業者	10	3	3,680	868	—	—
高効率空調機器	事業者	64	33	36,797	19,096	—	—
高効率給湯器（エコキュート）	個人	16	2	1,600	300	—	—
コージェネレーション（エネファーム）	個人	19	18	3,800	5,400	13.3	12.6
電気自動車及び充電設備	個人	0	—	0	—	—	—
	事業者	0	—	0	—	—	—
計		129	100	54,802	44,050	236.0	137.8

※本助成金を活用して設置する太陽光発電設備の付帯設備に限る

※電気自動車及び充電設備は、令和6年度助成対象外

(2) 公共施設の脱炭素化

市有施設の高効率空調機器(2施設)及び高効率照明機器(LED)(2施設)への更新予定。

(3) 助成金交付事務執行委託

助成金の申請受付や事業周知や相談等の事務局を宝塚商工会議所に委託。市では交付決定や支払い事務に必要な会計年度任用職員を雇用し、助成金事務を行った。

対象となる事業者へ助成金説明会を行うほか、進捗状況に応じて、適宜、商工会議所の媒体を活用して会員及びその他事業者へPRを行い、市HP、SNSの媒体の活用等による市民や事業者への周知を図った。

2. 太陽光発電及び蓄電池設備の共同購入支援事業

自治体が事務局を担う事業者(アイチューザー株式会社)と協定を結び、太陽光発電と蓄電池設備の購入希望者を広く市民から募り、一括して発注することでスケールメリットを生かし、一定品質の機器を安全安心に購入するという内容の事業であり、令和4年度より阪神7市1町及び神戸市との連携により開始した。

令和6年度は、兵庫県内14市町で実施し、募集開始。

本市の参加登録実績は次のとおり。(別添「太陽光発電及び蓄電池設備の共同購入支援事業」チラシ参照)

年度	参加登録数 (内、契約数)	内訳 (内、契約数)			導入量	
		太陽光パネル	太陽光パネル +蓄電池	蓄電池	太陽光 パネル (kW)	蓄電池 (kWh)
令和6年度	165 (3)	17 (2)	84 (0)	64 (1)	11.5	12.7
令和5年度	199 (15)	38 (4)	86 (4)	75 (7)	49.1	79.9
令和4年度	397 (30)	64 (3)	176 (9)	157 (18)	48.8	196.8

3. 宝塚市制70周年記念事業

宝塚市制70周年を記念した市民啓発事業を環境エネルギー課で開催。

- ・地球温暖化防止講演会「過去に感謝 さあ地球の未来を知って いい環境をこどもたちに残そう！」(講師:正木明氏(気象予報士))・令和6年11月16日開催。参加者:258人。
- ・エコ×エネフェス(ソープねんど工作、走れ!ソーラートレイン、公用EV展示、エコバッグづくり)・令和6年12月1日開催。参加者:約1,300人。



地球温暖化防止講演会



エコ×エネフェス

4. 木質バイオマス有効利用事業

兵庫県が北摂里山地域循環共生圏構築の一環として進める本市北部地域の木質バイオマス有効利用事業では、令和4年度より玉瀬地区口添谷の県有地において、(一社)徳島地域エネルギーを事業主体として、県有林の伐採、チップ化及び神戸市北区ラボにチップを搬送しての乾燥試験を通して事業モデルを構築しており、市では説明会の開催等、同事業の住民理解を得るために、県と協力体制をとっている。

上記の木質バイオマス有効利用事業は、NEDO(国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)から採択された「森林再生による燃料ポテンシャル開拓事業(令和5~10年度)」の支援を受け、進められている。その目的は、広葉樹等の活用拡大に向け、地域に適した植林・育林・伐採・搬出方法を実証。伐採により燃料を生産しつつ、植林、育林、モニタリングを主においた、伐採区の森林再生を行うことである。(詳細は別添「兵庫県の「北摂里山地域循環共生圏」の取組について」を参照。)

5. その他の取組(令和6年度実施の詳細は、別添のとおり)

- ・親子で挑戦!エコ・クッキング(講師:大阪ガスネットワーク(株))・令和6年8月18日
- ・地球温暖化防止啓発講演会「どうなる?どうする?地球沸騰化時代の到来」(講師:豊田陽介氏(NPO法人気候ネットワーク))・令和6年9月14日
- ・阪急電鉄SDGsトレイン「未来のゆめ・まち号」にゼロカーボンシティのポスター掲出・令和6年10月~12月
- ・農林水産省みどりの食料システム戦略推進交付金(地域循環型エネルギーシステム構築)
(一社)西谷ソーラーシェアリング協会が採択を受け、事業主体の協議会が行う推進会議にオブザーバー参加。同協議会では、6回の推進会議開催及び4か所の先進地視察により、持続可能な営農型太陽光発電事業のスキーム検討を行った。